山形銀行

調査月報

October
2020
No.592

10

CONTENTS

トピックス

02 2020年1～3月期県内企業業績結果

やまぎん企業景況サーベイ（2020年7-9月調査）
〈新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する特別調査〉

04 業況判断BSIは5期ぶりに上昇

県内経済の動き

08 一部に下げ止まりの動きがみられるものの、
新型コロナウイルス感染症の影響により、
依然低迷している。

やまぎん情報開発研究所

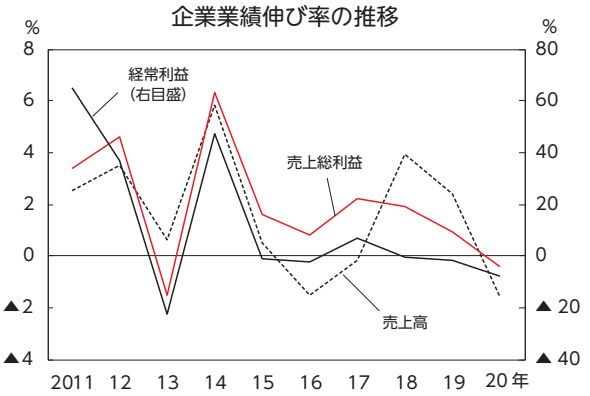
Yamagata Bank

2020年１～３月期県内企業業績結果

今回は、2020年１～３月期に決算を迎えた県内主要企業（1,563社）の業績結果について、詳細をまとめた。

１．金額ベースの動向

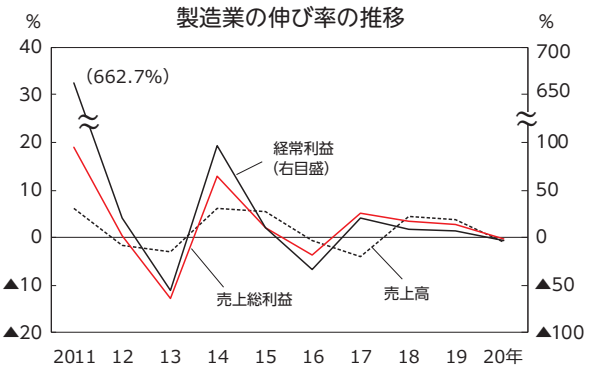
今回の県内主要企業の業績結果をみると、全体では売上高が前年（2019年１～３月期、以下同様）比1.6％減と３年ぶりのマイナスになり、売上総利益は0.4％減で７年ぶりのマイナスになった。また、経常利益は7.8％減で３年連続のマイナスとなり、減少率も年々拡大傾向にある。



製造業は、売上高が前年比1.1％減、売上総利益は0.2％減、経常利益は3.8％減となった。売上高は2018年をピークに伸び率が低下し３年ぶりの減収、経常利益は2017年をピークに伸び率が低下し４年ぶりの減益に転じた。

詳細をみると、売上高については10業種中５業種で減収となり、特に大口受注が減少した窯業・土石と、外需の減速の影響を受けた一般機械の落ち込みが大きくなった。一方、増収となった５業種のなかでは、精密機械や化学を含むその他製造業の伸びが大きかった。

経常利益については、４業種で減益、６業種で増益となった。増益業種が半数以上であるものの、企業数が多く企業業績に占めるウエイトも大きい一般機械が大幅に減少し、全体を押し下げた。また、一般機械以外の減益業種も落ち込みが大きくなっている。一方、増益となった業種については、一部の大規模企業が黒字転換したことなどから、食料品・飲料、輸送機械の

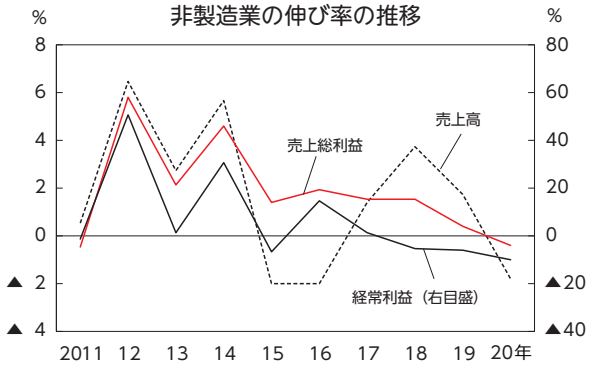


伸びが大きくなっている。

非製造業は、売上高が前年比1.8％減、売上総利益は0.4％減、経常利益は10.2％減となった。減収に転じたのは４年ぶりであるが、経常利益については３年連続の減益で、さらに減少率は２年連続で拡大している。

詳細をみると、売上高については８業種中６業種で減収、２業種で増収となった。減収業種のなかでは、消費増税や新型コロナウイルス感染拡大の影響などをうけて、旅館・ホテル,飲食業や小売業の減少率が大きく、旅館・ホテル,飲食業については２年連続の減収となっている。

経常利益については、４業種で減益、４業種で増益となった。減益となった業種のなかでは、特に運輸業の落ち込みが大きく、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、旅客輸送を中心に利用客数が減少し赤字となった企業が増加した。また、旅館・ホテル,飲食業も減収が響き、３年連続で欠損となっている。一方、増益となった業種をみると、小売業や建設業が減収ながら売上原価の低下などにより増益となっている。



ここで、売上高経常利益率についてみると、全産業では前回調査比0.2ポイント低下の2.5%となり、2017年の2.8%をピークに低下傾向にある。業種別にみると、製造業は前回比0.3ポイント低下の3.1%で４年ぶりに低下した。非製造業も前回比では0.2ポイント低下の2.2%と３年連続で低下している。

業種別の企業業績増加率

(単位：社、%)

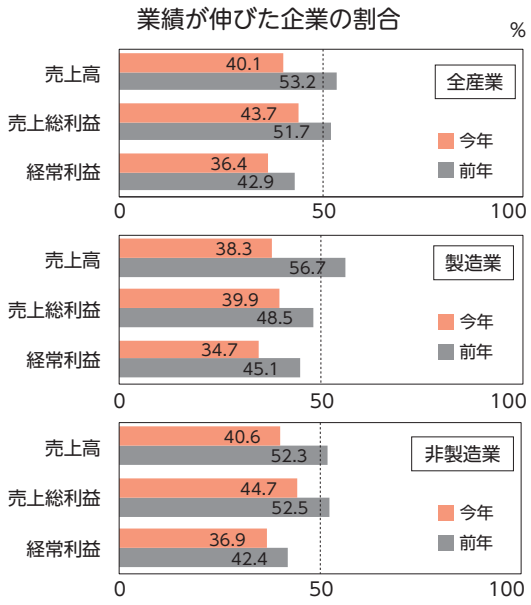
	企業数	金額ベースの増加率		
		売上高	売上総利益	経常利益
製造業	326	▲ 1.1	▲ 0.2	▲ 3.8
食料品・飲料	59	1.4	7.6	105.1
繊維・衣服	22	▲ 1.0	0.1	▲31.4
木材・家具	21	▲ 1.4	▲ 6.5	▲52.4
紙・印刷	22	2.0	▲ 1.3	5.3
窯業・土石	15	▲10.1	▲34.1	▲87.7
鉄鋼・金属	41	3.1	5.2	20.8
一般機械	53	▲ 6.5	▲14.4	▲51.5
電気機械	41	▲ 2.3	5.2	16.4
輸送機械	14	0.1	18.9	101.7
その他製造業	38	4.2	8.1	87.5
非製造業	1,237	▲ 1.8	▲ 0.4	▲10.2
建設業	324	▲ 0.2	3.5	6.8
運輸業	77	▲ 1.5	▲ 8.8	▲59.9
卸売業	189	▲ 2.2	▲ 3.8	▲ 5.8
小売業	202	▲ 3.2	▲ 0.7	1.4
旅館・ホテル,飲食業	55	▲ 3.5	▲ 2.4	▲ 6.4
不動産業	48	1.9	1.4	13.3
医療・福祉	58	2.5	3.1	8.6
サービス業・その他	284	▲ 0.4	0.5	▲29.3
全産業	1,563	▲ 1.6	▲ 0.4	▲ 7.8

※アミカケ部分は欠損。

2．企業数ベースの動向

企業数ベースでの推移をみると、前年に比べ業績の伸びた企業の割合（売上総利益、経常利益については欠損企業を除く）は、売上高が40.1%、売上総利益が43.7%、経常利益が36.4%となった。前年に比べていずれも大きく低下しているが、特に売上高の低下幅が目立っている。

業種別にみると、製造業では、売上高が伸びた企業の割合は38.3%、売上総利益は39.9%、経常利益は34.7%となった。非製造業では、売上高が40.6%、売上総利益が44.7%、経常利益が36.9%となった。製造業、非製造業ともに金額ベースの動向と同様の動きを示しており、いずれも約６割の企業が前年を下回る業績となったことがわかる。一部企業による押し下げではなく、幅広い企業で業績が悪化している様子がうかがえる。



3．まとめ

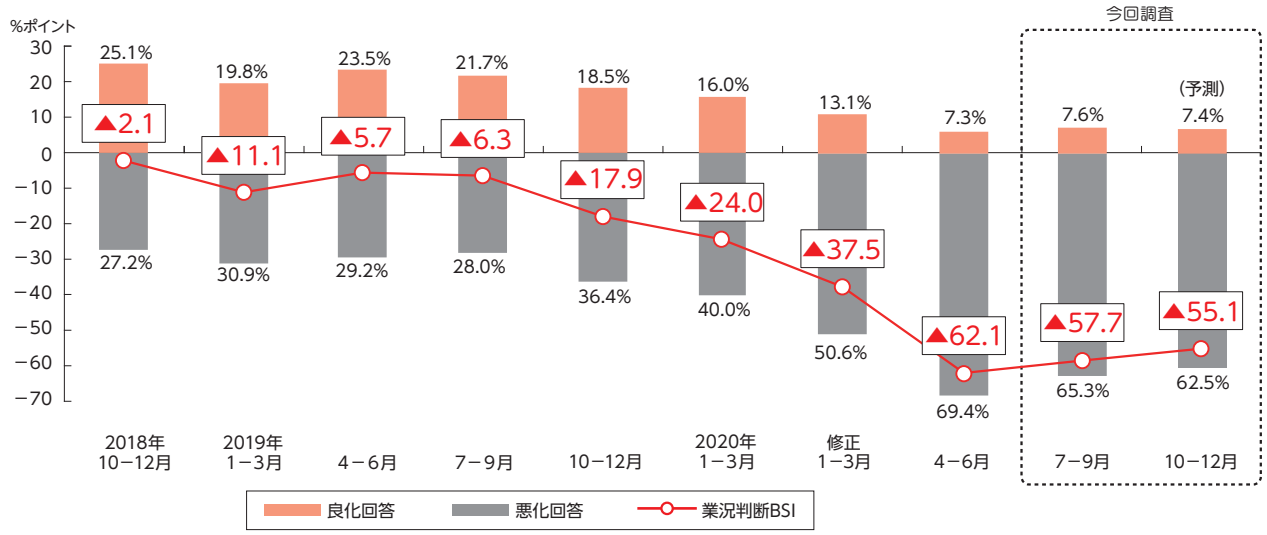
2020年１～３月期に決算を迎えた県内主要企業の業績結果をみると、米中貿易摩擦や世界的な半導体需要の一巡による生産活動の弱含みに加え、消費増税による個人消費の落ち込みや、暖冬による季節需要の減少などをうけて、製造業、非製造業ともに減収減益となった。新型コロナウイルス感染拡大の決算への反映は限定的であったが、運輸業や旅館・ホテル,飲食業などの業種では短期間ながら甚大な影響があった様子もうかがえる。

こうしたなか、今期（2021年１～３月期）の企業業績については、新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、さらに大きく落ち込むことが予想される。インバウンドを含む海外取引の停滞が大きな足かせとなるなか、巣ごもり需要などの盛り上がりがみられるとはいえ、全体としてみれば国内の消費マインドは冷え込んでおり、感染防止のための客数制限などもあって売上高は伸び悩みが続いている。加えて、感染予防対策の実施による各種コストの増加も懸念されることなどから、県内企業の業績はさらなる悪化が見込まれる状況にあり、２年連続での減収減益になるものとみられる。

2020年７－９月調査の結果概要
〈新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する特別調査〉

～ 業況判断BSIは５期ぶりに上昇～

業況判断BSI〈前年同期比〉と回答内訳



１．業況判断BSI〈前年同期比〉

業況判断BSI〈前年同期比〉〈前年（2019年７－９月）に比べ業況が「良化する」企業の割合－「悪化する」企業の割合〉は、▲57.7となり、前回比では＋4.4ポイントと５期ぶりに上昇した。また、前回調査時点での予想（▲61.9）も上回ったが、依然としてリーマン・ショック後の最低水準（2009年１－３月、▲55.1）を下回る厳しい状況にある。

内訳をみると、前年に比べて業況が「悪化する」との回答割合が69.4%から65.3%に低下する一方、「良化する」との回答割合については横ばいに近い動きとなっており、コロナ禍が続くなかで、力強い業況持ち直しの動きについては広がりを欠いている。

こうしたなか、2020年10－12月の予想は、今回調査比＋2.6ポイントの▲55.1で、緩やかな上昇が続く見通し。ただし、前年に比べて業況が「悪化する」とみる企業は依然として６割以上を占めている。

２．業況判断BSIの業種別の動き

業況判断BSI〈前年同期比〉を業種別にみると、製造業は前回比＋2.9ポイントの▲64.5で、小幅ながら上昇に転じたものの、依然としてリーマン・ショック後の最低水準（2009年１－３月、▲63.9）を下回る水準にとどまっている。

詳しくみると、９業種のうち前回比で上昇したのは５業種、低下は３業種、横ばいは１業種で、方向感はまちまちである。上昇業種のなかでも、公共工事を中心に建設需要が底堅く推移した窯業・土石と、前回調査で▲100.0の最低水準に落ち込んでいた輸送機械が特に目立った動きとなった。ただし、輸送機械は、落ち込みの反動から一部に受注増の動きがみられるとはいえ、BSIは▲64.3と低水準にある。一方、低下業種では、鉄鋼・金属が、海外需要が低迷している電子部品関連や、首都圏を中心に建設計画先送りの影響がみられた建材関連などが受注減となり、前年同期が堅調だったこともあって大幅な落ち込みとなった。また、一般機械も、海外だけでなく国内の遠隔地に赴いての営業活動が制限されるなかで、顧客の設備投資計画先送り等も多くなってきており、受注低迷が続いている。

非製造業については、前回比＋6.0ポイントの▲52.4となった。新型コロナウイルス感染拡大の影響が比較的少ない建設業・不動産業の下支えからBSIは製造業を上回ったが、依然としてリーマン・ショック後の最低水準（2009年１－

3月、▲45.8）を下回る水準にある。

詳しくみても、6業種がすべて前回比で上昇に転じており、なかでも食料品を中心に巣ごもり需要による引き合いの増加がみられた卸売業や小売業と、前回調査において▲100.0の最低水準に落ち込んでいた旅館・ホテル,飲食業の上昇が比較的大きくなった。ただし、旅館,ホテル・飲食業に関しては、BSIは▲91.7と非常に低水準にとどまっている。

2020年10－12月の予想については、製造業が今回調査比＋2.1ポイントの▲62.4、非製造業が今回調査比＋3.0ポイントの▲49.4で、いずれも小幅ながら上昇する見通しである。ただし、製造業では一般機械がコロナ禍以後における最低水準を更新する見込みであるほか、非製造業では上昇業種が今回調査よりも減少して2業種となるなど、全面的な持ち直しには至っておらず、業況回復の道筋が不透明な業種も多い様子がうかがえる。

3．新型コロナウイルス感染拡大の影響

新型コロナウイルスの感染拡大が7－9月の業況に与えた影響についてきいたところ、「大きなマイナスの影響がある」が43.0%、「ややマイナスの影響がある」が29.6%、「あまり影響はないが、これからマイナスの影響が出る可能性がある」が18.4%、「あまり影響はない」が6.7%、「全体としてはプラスの影響が大きい」が2.2%の順になった。前回調査と比較すると、すでにマイナスの影響があるとする回答割合は68.6%から72.6%へとさらに上昇している。

業況判断BSI	50以上	15以上 50未満	▲15超 15未満	▲50超 ▲15以下	▲50以下
マーク					

業種別の業況判断BSI〈前年同期比〉

業種＼時期	2020年 1－3月	4－6月	今回調査 7－9月	前回比	（予想） 10－12月	今回比
製造業	▲ 39.8	▲ 67.4	▲ 64.5	+2.9	▲ 62.4	+2.1
食料品・飲料	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 53.8	+12.9	▲ 48.7	+5.1
繊維・衣服	▲ 75.0	▲ 81.8	▲ 80.0	+1.8	▲ 80.0	±0.0
木材・家具	0.0	▲ 41.6	▲ 41.6	±0.0	▲ 25.0	+16.6
窯業・土石	▲ 25.0	▲ 54.5	▲ 20.0	+34.5	▲ 30.0	−10.0
鉄鋼・金属	▲ 23.5	▲ 58.8	▲ 89.5	−30.7	▲ 78.9	+10.6
電気機械	▲ 36.3	▲ 69.6	▲ 62.5	+7.1	▲ 60.9	+1.6
一般機械	▲ 48.0	▲ 60.5	▲ 66.7	−6.2	▲ 77.0	−10.3
輸送機械	▲ 56.3	100.0	▲ 64.3	+35.7	▲ 53.3	+11.0
その他製造業	▲ 31.4	▲ 78.5	▲ 80.0	−1.5	▲ 76.7	+3.3
非製造業	▲ 35.8	▲ 58.4	▲ 52.4	+6.0	▲ 49.4	+3.0
建設業・不動産業	▲ 20.2	▲ 38.2	▲ 37.8	+0.4	▲ 32.9	+4.9
運輸業	▲ 23.1	▲ 66.6	▲ 64.7	+1.9	▲ 64.7	±0.0
卸売業	▲ 43.3	▲ 60.6	▲ 50.8	+9.8	▲ 52.3	−1.5
小売業	▲ 53.3	▲ 75.6	▲ 61.5	+14.1	▲ 47.4	+14.1
旅館・ホテル,飲食業	▲ 47.1	100.0	▲ 91.7	+8.3	▲ 91.7	±0.0
サービス業・その他	▲ 35.6	▲ 63.6	▲ 55.8	+7.8	▲ 58.1	−2.3

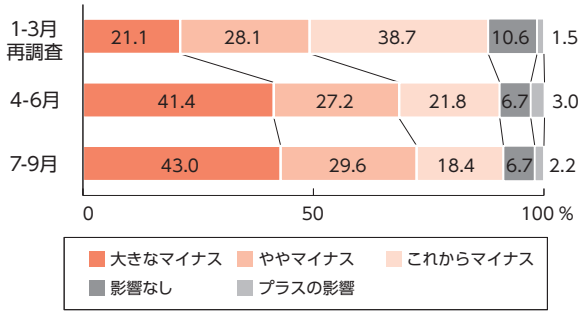
※2020年1－3月は再調査の値。

【今回の調査概要】　対象期間　2020年7－9月　　調査期間　2020年8月7日～25日
有効回答　451社／600社（回答率　75.2%）

「やまぎん企業景況サーベイ」は、企業の景況感を明らかにすることを目的に、山形県内に本社および事業所を有する企業を対象として四半期ごとに実施している調査です。調査票は、郵送または山形銀行の本支店を通じて配布・回収しております。地区別の業況判断BSIや、売上高BSI、雇用判断BSI、設備投資実施率等も含めた調査結果の詳細は、10月上旬までに当行ホームページ「調査月報」コーナーに掲載しますので、そちらもあわせてご覧ください。

業種別にみると、「大きなマイナスの影響がある」とする回答割合は、製造業では鉄鋼・金属や一般機械を中心に54.8%（前回50.8%）に上昇した。一方、非製造業は33.7%（同34.3%）となり、小売業において外出自粛による影響一巡がみられるとする企業が増えたことなどから、若干ながら低下した。

新型コロナウイルス感染拡大の影響



4．売上高の現状と見通し

7－9月の売上高について、前年と比較した増減率の見込みをきいたところ、全体では「前年並み、または増加」が32.3%、「前年比10%未満の減少」が10.9%、「同10～30%未満の減少」が36.1%、「同30～50%未満の減少」が13.8%、「同50%以上の減少」が5.8%（無回答1.1%）になっている。

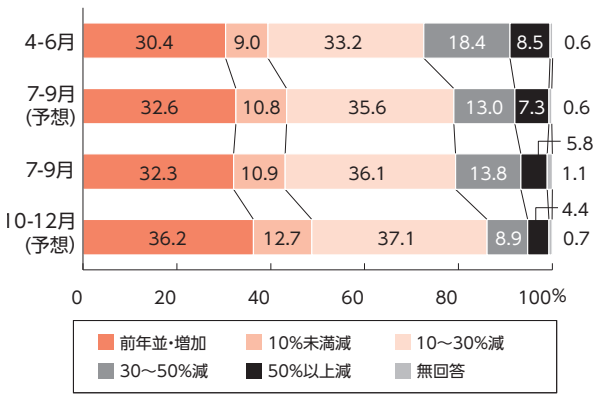
前年比で売上減となる企業の割合は前回と同規模の約7割で、売上高の回復に至っている企業は依然として少ない。ただし、前年比30%以上の大幅な減少となる割合は、26.9%から19.6%に低下しており、徐々にではあるが売上高の減少ペースが緩やかになってきている企業もある様子がうかがえる。なお、全体では前回調査時点での予想にかなり近い結果となっているが、業種別にみると、製造業では「前年並み、または増加」とする企業の割合は、4－6月は26.3%で、7－9月は30.1%に上昇する予想であったが、今回調査では25.3%に低下する結果となっており、想定よりも回復に遅れが生じている様子がうかがえる。

2020年10－12月の予想については、「前年並み、または増加」とする割合が上昇し、前年比30%以上の大幅な減少となる企業の割合はさらに低下する見通しで、緩やかながら持ち直しに向けた動きが続くものとみられる。

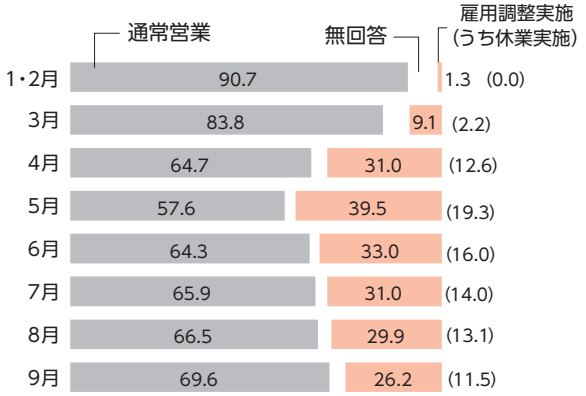
5．営業体制について

国内において新型コロナウイルスの感染者が確認された今年1月以降、感染拡大抑止への配慮や、内外需の需要減によって、休業や従業員の一時帰休、時短営業など、広義での雇用調整（従業員の在宅勤務や配置転換などは除く）を実施しているかどうかをきいたところ、実施割合は5月の39.5%をピークとして緩やかな低下傾向をたどっており、8月に29.9%と5カ月ぶりに3割を切り、9月は26.2%とさらに低下する見込みになっている。しかしながら、通常通りの営業時間・人員体制に復帰している企業はなおも7割程度にとどまっており、また1割の企業が休業日を設けている状態が続いているなど、雇用過剰感の強い状況が継続している。

売上高の前年比



営業体制について



2020年 8月

山形県

2日

豪雨による断水　解消

記録的な豪雨により、7月29日から断水が続いていた尾花沢市の上水道が復旧し、県内の断水がすべて解消された。尾花沢市、大石田町、大蔵村で最大5,501世帯が断水の影響を受けた。

13日

山形空港の検温　全到着便に拡大

県は、新型コロナウイルス感染対策として、山形空港で7月5日から羽田便に限って実施していた検温の対象を全到着便に拡大。

19日

「山形ラ・フランス」GI登録

農林水産省は、地理的表示（GI）保護制度の対象として、「山形ラ・フランス」を追加登録した。県内では6件目の登録。

20日

豊実精工と愛和ライト　米沢へ進出

米沢市は、米沢八幡原中核工業団地に生産用機械製造の豊実精工（岐阜県）、米沢オフィス・アルカディアにプラスチック製品製造の愛和ライト（愛知県）が工場を新設すると明らかにした。

28日

7月豪雨　建物被害1,200棟超

県のまとめによると、7月末の豪雨による県内の建物被害（8月28日時点）は非住家も含めて1,202棟で、うち全壊12棟、半壊61棟、一部破損11棟、床上・床下浸水1,118棟となった。

29日

酒田港　拡張工事が完了

酒田港の国際ターミナルで進められていた岸壁とコンテナヤードの拡張工事が完了し、運用を開始した。1,000TEU級の大型コンテナ船2隻を同時に受け入れることが可能に。

東　北

1日

道の駅なみえ　オープン

福島県浪江町に「道の駅なみえ」がオープン。産地直売所やフードテラスのほか、交流サロン、観光情報発信コーナーなどを備える。来年1月には地域産品の販売コーナーを拡張する予定。

3日

東北7月降水量　過去最多

仙台管区気象台のまとめによると、7月の東北地方の降水量は平年比201%で、1946年の調査開始以来最も多くなった。

6日

東北5月外国人宿泊者数96%減

東北運輸局の発表によると、5月の東北の外国人延べ宿泊者数(速報値)は、前年比96.9%減の3,110人で、2007年の調査開始以降最も少なくなった。

6日

東北ILC事業推進センター　設立

次世代加速器「国際リニアコライダー（ILC）」の北上山地への誘致を目指す「東北ILC事業推進センター」の設立総会が開かれた。宮城、岩手両県の大学や自治体などで構成。

24日

福島県産米　抽出検査に移行

東京電力福島第1原発事故に伴う福島県産米の放射性物質検査について、福島県は、2015年以降基準値を超える検体がないことから、全量全袋検査から抽出検査に切り替えた。

31日

中合福島店　閉店

百貨店の中合福島店（福島市）が閉店し、146年の歴史に幕を下ろした。入居するビルは解体され、運営会社も清算する予定。

基調判断

前月からの変化 →

一部に下げ止まりの動きもみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然低迷している。

企業の生産活動は低迷しているが、大手メーカーによる生産調整の緩和等をうけて下げ止まりの兆しがみられる。個人消費は、低水準にあり一進一退で推移している。こうしたなか、企業の景況感は、若干の改善がみられるものの厳しい状況が続いており、雇用情勢は、幅広い業種で求人数が減少し、有効求人倍率の低下が続いている。

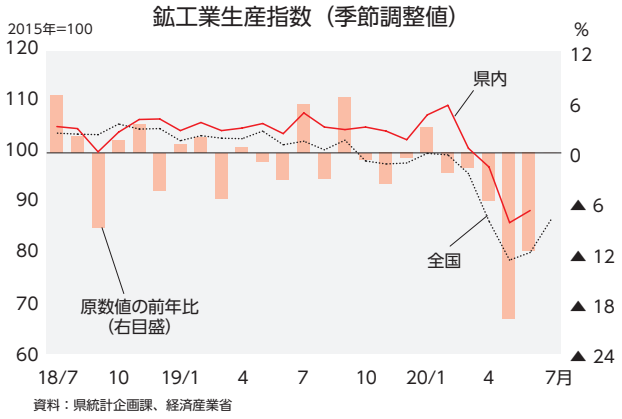
先行きについては、経済活動が徐々に活発化するなかで持ち直しに向かうものの、新型コロナウイルス感染再拡大への懸念もあって、その動きは緩やかなものにとどまる見通し。

生　産

前月からの変化 ↑

低迷するも下げ止まりの兆し

6月の鉱工業生産指数（2015年平均=100）は、前月比2.8%上昇の88.5となり、4カ月ぶりに上昇した。ただし、原数値の前年比では11.7%低下し、5カ月連続のマイナスになっている。大手自動車メーカーの生産調整が徐々に緩和されたことなどをうけて、輸送機械をはじめ生産が上向いてきている業種がみられる。



資料：県統計企画課、経済産業省

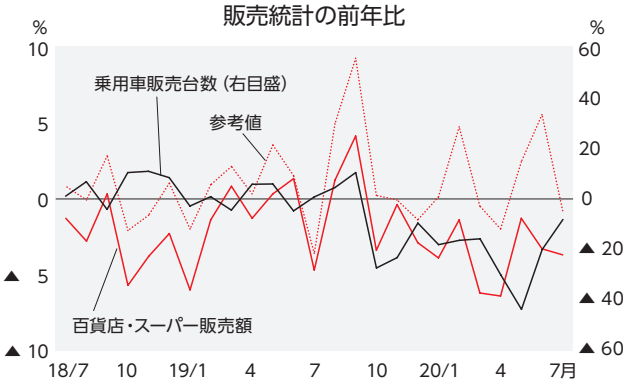
個人消費

前月からの変化 ↓

低水準にあり一進一退

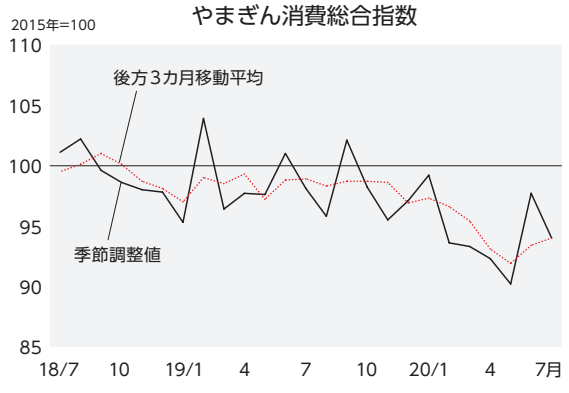
7月の百貨店・スーパー販売額（全店舗）は前年比3.7%減で10カ月連続のマイナス。家電大型専門店やホームセンター等では増加が続いているが、増加率は前月に比べ総じて縮小した。

7月の乗用車販売台数（軽含む）も、前年比8.2%減で10カ月連続のマイナスになっているが、減少率は大幅に縮小した。



※参考値は、百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンターの販売額合計。
資料：東北経済産業局、東北運輸局、全国軽自動車協会連合会

7月のやまぎん消費総合指数（2015年平均=100）は、季節調整値（速報値）で前月比3.8%低下し94.0となった。後方3カ月移動平均では同0.6%上昇でプラスを維持したが、上昇率は縮小している。「被服・履物」や「外食・宿泊」がプラスに転じる動きとなったものの、「交通」等が再びマイナスになっている。



資料：当行作成

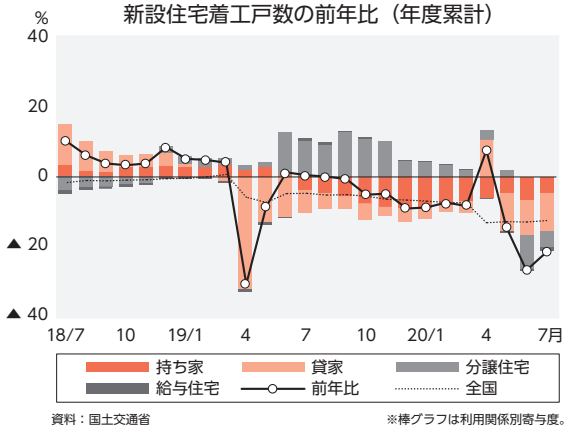
やまぎん消費総合指数の作成方法については、調査月報2012年8月号、2014年7月号をご参照ください。

住宅建設

前月からの変化 →

減少している

7月の新設住宅着工戸数は、前年比0.2%減でほぼ横ばい。貸家の減少が続く半面、持ち家が4カ月ぶりに増加に転じたほか、分譲住宅も2カ月ぶりに増加した。ただし、2020年4月以降の年度累計では、不要不急の外出自粛などの影響もあって年度当初の落ち込みが大きかったため、前年比21.2%減となっている。



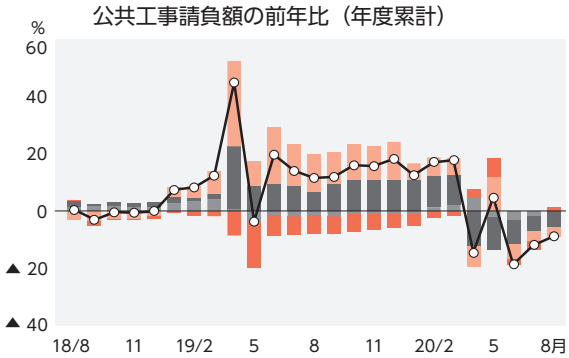
資料：国土交通省　※棒グラフは利用関係別寄与度。

公共工事

前月からの変化 →

持ち直しの動き

8月の公共工事請負額は、前年比9.5%増で2カ月連続のプラス。発注者別にみると、独立行政法人を含む「その他」の発注工事が、障害者支援施設建設などがあり大幅に増加したほか、国発注工事も2カ月連続で増加した。ただし、2020年4月以降の年度累計では、同8.7%減と3カ月連続のマイナスとなっている。



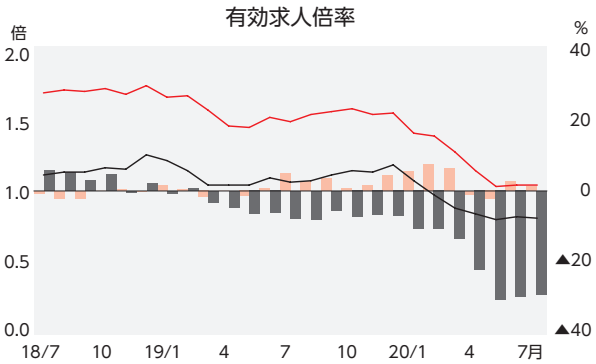
資料：東日本建設業保証㈱　※棒グラフは発注者別寄与度。

雇用情勢

前月からの変化 →

弱さがみられる

7月の有効求人倍率（パート含む全数・原数値）は、前年比0.44ポイント低下の1.04倍となった。有効求職者数が増加するなかで、新型コロナウイルス感染症の影響から製造業をはじめ幅広い業種で有効求人数の減少が続いている。また、正社員有効求人倍率は前年比0.25ポイント低下の0.81倍となった。



資料：山形労働局職業安定部　※前年比は右目盛。

国内経済の基調判断（内閣府 月例経済報告）

2020年8月

景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。

個人消費は、このところ持ち直している。設備投資は、弱含んでいる。輸出は、持ち直しの動きがみられる。生産は、一部に持ち直しの動きがみられる。企業収益は、感染症の影響により、大幅な減少が続いている。企業の業況判断は、厳しさは残るものの、改善の動きがみられる。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。消費者物価は、横ばいとなっている。

	鉱工業生産指数（2015年=100）								やまぎん消費総合指数（2015年=100）		消費者物価指数（2015年=100、山形市）	
	総合		電子部品・デバイス		汎用・生産用・業務用機械		食料品		季調値	前月比		前年比
		前年比		前年比		前年比		前年比				
		%		%		%		%		%		%
2017年	105.2	1.3	106.9	3.1	104.4	▲ 3.6	103.1	3.0	101.8	▲ 2.6	100.4	0.8
2018年	104.7	▲ 0.5	105.3	▲ 1.5	107.2	2.7	102.2	▲ 0.9	100.6	▲ 1.2	101.3	0.9
2019年	104.4	▲ 0.3	106.1	0.8	93.8	▲12.5	99.1	▲ 3.0	98.2	▲ 2.4	101.9	0.6
2019年 7月	107.8	5.8	107.0	2.8	100.4	▲ 1.6	98.6	1.0	98.1	▲ 2.9	101.6	0.5
8	105.0	▲ 3.1	106.2	▲ 0.4	96.0	▲12.2	97.3	▲ 7.3	95.8	▲ 2.3	101.8	0.1
9	104.5	6.6	107.3	3.7	87.0	▲13.6	100.0	▲ 0.1	102.1	6.6	101.9	0.2
10	105.0	▲ 0.8	109.2	4.7	90.7	▲11.1	100.4	▲ 5.1	98.2	▲ 3.8	102.2	0.3
11	104.2	▲ 3.7	109.5	3.8	78.5	▲29.9	100.9	▲ 3.2	95.5	▲ 2.7	102.3	0.7
12	102.5	▲ 0.6	107.5	6.4	75.7	▲32.7	99.3	1.5	97.1	1.7	102.3	1.0
2020年 1月	107.4	3.0	116.2	11.3	107.8	▲ 6.0	103.0	3.0	99.2	2.2	102.4	0.9
2	109.3	▲ 2.4	120.6	15.6	101.6	▲ 5.0	102.3	0.9	93.6	▲ 5.6	102.0	0.5
3	100.8	▲ 1.8	119.2	15.5	85.7	▲15.5	96.2	▲ 2.2	93.3	▲ 0.3	101.8	0.1
4	97.1	▲ 5.7	113.8	12.4	75.0	▲37.0	95.9	▲ 4.9	92.3	▲ 1.1	101.4	▲ 0.5
5	86.1	▲19.8	104.8	▲ 4.0	62.9	▲28.8	90.4	▲10.5	90.2	▲ 2.3	101.2	▲ 0.9
6	88.5	▲11.7	94.0	▲ 7.9	63.0	▲18.8	95.5	5.3	97.7	8.3	101.4	▲ 0.5
7	–	–	–	–	–	–	–	–	94.0	▲ 3.8	101.6	0.0
資料出所	山形県統計企画課								当行作成		山形県統計企画課	

※生産指数は季節調整値、前年比は原指数比較

	商業動態統計											
	百貨店・スーパー		コンビニエンスストア		ドラッグストア		ホームセンター		家電大型専門店		合計（参考値）	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2017年	150,730	0.2	87,988	1.4	47,260	8.6	33,378	1.4	23,654	0.7	343,010	1.7
2018年	147,422	▲ 2.2	88,627	0.7	50,843	7.6	34,118	2.2	23,438	▲ 0.9	344,448	0.4
2019年	145,827	▲ 1.1	89,108	0.5	56,586	11.1	33,277	▲ 2.5	23,962	2.2	348,760	1.3
2019年 7月	11,854	▲ 4.7	7,991	▲ 3.4	4,921	7.7	2,834	▲ 4.9	2,088	▲17.4	29,688	▲ 3.6
8	13,202	1.2	8,411	2.4	5,283	14.8	3,010	1.8	2,353	21.2	32,259	4.9
9	12,191	4.1	7,467	▲ 0.9	5,175	20.7	2,895	13.8	2,803	49.7	30,531	9.2
10	11,346	▲ 3.4	7,405	1.0	4,997	19.7	2,668	▲ 4.4	1,410	▲19.2	27,826	0.2
11	11,375	▲ 0.4	7,075	0.4	4,549	7.8	2,791	▲ 6.1	1,621	▲ 9.5	27,411	▲ 0.1
12	14,383	▲ 2.9	7,689	▲ 0.7	4,928	15.0	3,207	▲11.5	2,446	▲ 7.8	32,653	▲ 1.4
2020年 1月	11,739	▲ 3.9	6,839	▲ 1.0	5,018	12.6	2,176	▲ 6.4	2,399	7.1	28,171	0.1
2	10,619	▲ 1.4	6,554	1.4	5,149	24.0	1,917	8.5	1,669	4.9	25,908	4.7
3	11,681	▲ 6.2	6,850	▲ 6.4	5,288	22.8	2,521	7.5	2,143	▲ 3.3	28,483	▲ 0.5
4	11,021	▲ 6.4	6,373	▲12.2	5,528	20.6	3,305	6.7	1,568	▲ 4.0	27,795	▲ 2.0
5	12,067	▲ 1.3	6,876	▲10.4	5,169	13.5	4,182	17.2	2,153	25.4	30,447	2.4
6	11,623	▲ 3.3	7,143	▲ 4.1	5,577	19.2	3,483	25.8	2,517	36.4	30,343	5.5
7	11,415	▲ 3.7	7,270	▲ 9.0	5,509	11.9	3,062	8.0	2,205	5.6	29,461	▲ 0.8
資料出所	経済産業省										当行作成	

※前年比は全店舗ベース

	乗用車販売台数								金融機関預貸金残高（銀行＋信金）			
	普通車		小型車		軽乗用車		合計		預金		貸出金	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
	台	%	台	%	台	%	台	%	億円	%	億円	%
2017年	12,041	3.4	15,618	5.9	16,760	7.7	44,419	9.5	48,244	0.5	27,119	2.2
2018年	12,929	7.4	15,473	▲ 0.9	16,819	0.4	45,221	1.8	48,381	0.3	27,196	0.3
2019年	12,584	▲ 2.7	14,498	▲ 6.3	16,386	▲ 2.6	43,468	▲ 3.9	48,796	0.9	26,926	▲ 1.0
2019年 7月	1,097	4.6	1,297	5.5	1,255	▲ 6.8	3,649	0.7	48,534	0.6	26,683	▲ 1.0
8	937	▲ 0.4	1,051	▲ 3.4	1,250	16.5	3,238	4.4	48,686	1.1	26,686	▲ 0.8
9	1,364	10.0	1,420	1.1	1,821	19.0	4,605	10.3	48,285	0.1	26,733	▲ 1.1
10	773	▲22.4	813	▲34.5	1,024	▲24.3	2,610	▲27.3	48,158	0.8	26,672	▲ 0.9
11	777	▲27.7	1,042	▲20.8	1,089	▲21.9	2,908	▲23.2	48,747	1.1	26,739	▲ 0.6
12	856	1.1	942	▲10.9	961	▲16.2	2,759	▲ 9.6	48,796	0.9	26,926	▲ 1.0
2020年 1月	714	▲14.3	817	▲23.7	1,045	▲15.8	2,576	▲18.1	48,107	1.0	26,735	▲ 1.0
2	849	▲15.6	1,136	▲17.1	1,352	▲16.2	3,337	▲16.4	48,292	1.6	26,835	▲ 0.3
3	1,483	▲24.2	1,878	▲11.5	2,073	▲12.9	5,434	▲15.8	48,525	0.8	26,756	▲ 1.6
4	530	▲41.2	984	▲10.4	739	▲39.3	2,253	▲30.0	49,196	1.6	26,592	▲ 1.1
5	507	▲49.6	776	▲28.4	569	▲52.5	1,852	▲43.6	50,446	4.8	26,866	0.8
6	748	▲30.6	932	▲21.6	1,204	▲ 9.9	2,884	▲20.0	–	–	–	–
7	893	▲18.6	1,075	▲17.1	1,380	10.0	3,348	▲ 8.2	–	–	–	–
資料出所	東北運輸局				(一財)全国軽自動車協会連合会		当行作成		日本銀行山形事務所			

※実質預金＋CD、末残

	新設住宅着工戸数								企業倒産			
	合計（年度累計）		持ち家		貸家		分譲住宅+給与住宅		件数		金額	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
	戸	%	戸	%	戸	%	戸	%	件	件	百万円	%
2017年度	5,968	8.2	3,005	▲ 1.0	2,152	19.0	811	20.3	43	0	4,178	▲56.3
2018年度	6,207	4.0	3,211	6.9	2,114	▲ 1.8	882	8.8	49	6	7,671	83.6
2019年度	5,697	▲ 8.2	2,804	▲12.7	1,894	▲10.4	999	13.3	49	0	11,867	54.7
2019年 8月	2,814	0.1	1,368	▲ 8.4	953	▲11.0	493	98.8	4	0	360	▲52.0
9	3,347	▲ 0.6	1,603	▲11.3	1,140	▲ 9.6	604	102.0	6	0	300	▲77.0
10	3,715	▲ 5.0	1,770	▲16.0	1,281	▲10.7	664	79.9	2	1	50	100.0
11	4,195	▲ 4.7	1,993	▲16.3	1,477	▲ 7.6	725	71.8	3	▲ 1	577	292.5
12	4,638	▲ 8.9	2,209	▲16.5	1,596	▲11.5	833	29.5	6	1	420	124.6
2020年 1月	4,858	▲ 8.6	2,314	▲16.5	1,662	▲ 9.7	882	25.8	10	8	4,368	119.8
2	5,283	▲ 7.2	2,523	▲14.4	1,820	▲ 7.7	940	21.6	2	▲ 1	71	▲94.8
3	5,697	▲ 8.2	2,804	▲12.7	1,894	▲10.4	999	13.3	1	▲ 6	303	▲64.6
4	543	7.5	295	▲ 9.0	185	39.1	63	31.3	2	0	195	▲93.9
5	910	▲14.2	528	▲ 8.7	262	▲30.9	120	16.5	1	▲ 3	52	▲95.9
6	1,366	▲26.3	820	▲11.9	354	▲37.5	192	▲46.2	2	▲ 3	41	▲94.7
7	1,822	▲21.2	1,071	▲ 7.5	472	▲35.6	279	▲33.6	4	0	358	110.6
8	－	－	－	－	－	－	－	－	5	1	312	▲13.3
資料出所	国土交通省								東京商工リサーチ㈱ 山形支店			

	公共工事請負額										民間建築着工床面積	
	合計（年度累計）		国		県		市町村		独立行政法人 他		非居住用（年度累計）	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	㎡	%
2017年度	152,663	▲11.6	34,578	▲13.9	45,219	▲ 6.0	46,208	▲ 3.7	26,655	▲26.7	484,817	▲11.6
2018年度	172,180	12.8	40,978	18.5	48,479	7.2	58,636	26.9	24,084	▲ 9.6	471,622	▲ 2.7
2019年度	203,440	18.2	44,717	9.1	67,991	40.2	69,757	19.0	20,973	▲12.9	388,251	▲17.7
2019年 8月	110,017	11.9	24,231	▲ 4.9	33,374	26.0	41,191	43.4	11,219	▲36.3	206,101	▲ 6.7
9	128,512	12.3	26,932	▲ 7.6	42,677	34.1	46,290	36.7	12,611	▲35.8	263,328	▲ 2.5
10	147,992	16.4	30,207	▲ 1.4	50,883	36.8	53,488	42.1	13,413	▲38.2	302,333	▲ 0.2
11	156,487	16.1	30,659	▲ 1.7	56,332	35.2	55,766	39.7	13,729	▲37.6	322,963	▲ 7.7
12	165,432	18.6	30,823	▲ 1.7	58,935	35.1	60,953	45.0	14,719	▲34.6	346,255	▲ 7.1
2020年 1月	170,943	12.9	32,831	▲ 2.2	60,281	35.4	61,863	22.5	15,966	▲30.1	350,109	▲13.9
2	182,908	17.4	37,534	6.1	62,134	38.6	63,542	21.6	19,695	▲15.5	362,318	▲19.5
3	203,440	18.2	44,717	9.1	67,991	40.2	69,757	19.0	20,973	▲12.9	388,251	▲17.7
4	21,479	▲14.2	3,427	43.3	11,170	▲21.1	5,228	▲30.8	1,651	75.6	89,904	83.6
5	43,687	5.1	8,810	▲ 5.8	14,238	▲26.2	15,748	43.6	4,887	151.4	151,573	137.1
6	59,946	▲18.5	13,098	▲15.4	17,487	▲26.4	23,656	▲11.6	5,703	▲24.6	185,775	74.0
7	82,617	▲11.8	19,113	▲ 5.2	23,450	▲18.5	33,021	▲ 8.8	7,030	▲17.7	218,432	43.3
8	100,489	▲ 8.7	23,655	▲ 2.4	27,012	▲19.1	37,050	▲10.1	12,771	13.8	－	－
資料出所	東日本建設業保証㈱ 山形支店										国土交通省	

	一般職業紹介状況（新規学卒除きパートタイムを含む全数）								常用雇用指数		名目賃金指数	
	有効求人倍率		有効求人数		有効求職申込件数		正社員求人倍率		（2015年=100、5人以上事業所）			
	原数値	前年比		前年比		前年比	原数値	前年比		前年比		前年比
	倍	ポイント	人	%	件	%	倍	ポイント		%		%
2017年度(年)	1.59	0.24	27,303	9.6	17,192	▲ 6.8	1.00	0.18	100.8	0.5	100.3	1.1
2018年度(年)	1.64	0.05	28,023	2.6	17,088	▲ 0.6	1.12	0.12	102.8	2.0	99.0	▲ 1.3
2019年度(年)	1.47	▲0.17	25,822	▲ 7.9	17,587	2.9	1.06	▲0.06	104.2	1.4	99.3	0.3
2019年 7月	1.48	▲0.20	25,856	▲ 7.7	17,452	4.9	1.06	▲0.05	104.5	1.5	113.6	4.7
8	1.53	▲0.17	25,937	▲ 8.0	16,989	2.7	1.07	▲0.06	104.3	1.4	89.9	▲ 0.8
9	1.55	▲0.14	26,659	▲ 5.5	17,224	3.4	1.11	▲0.02	104.1	1.2	84.1	0.7
10	1.57	▲0.14	27,052	▲ 7.4	17,235	0.6	1.14	▲0.02	103.8	0.6	84.0	▲ 0.1
11	1.53	▲0.14	25,854	▲ 6.8	16,894	1.6	1.13	▲0.02	104.5	0.7	87.7	▲ 1.0
12	1.54	▲0.19	25,444	▲ 7.0	16,501	4.4	1.18	▲0.07	105.0	1.4	174.0	3.6
2020年 1月	1.40	▲0.25	23,952	▲10.7	17,122	5.5	1.07	▲0.14	104.1	0.1	83.6	▲ 2.0
2	1.38	▲0.28	25,128	▲10.6	18,190	7.4	0.97	▲0.17	103.7	0.1	82.2	▲ 0.2
3	1.27	▲0.29	24,280	▲13.3	19,070	6.2	0.88	▲0.16	103.0	0.9	86.1	▲ 1.0
4	1.14	▲0.31	21,088	▲22.0	18,435	▲ 1.0	0.84	▲0.20	103.4	▲ 1.3	83.4	▲ 3.4
5	1.03	▲0.41	18,461	▲30.4	18,000	▲ 2.3	0.80	▲0.24	102.8	▲ 2.0	81.8	▲ 4.1
6	1.04	▲0.47	18,465	▲29.5	17,803	2.7	0.82	▲0.27	103.1	▲ 1.6	127.3	▲ 3.2
7	1.04	▲0.44	18,422	▲28.8	17,687	1.3	0.81	▲0.25	－	－	－	－
資料出所	山形労働局職業安定部								山形県統計企画課			

※常用雇用指数、名目賃金指数は年

※現金給与総額

髙橋フルーツランド &HATAKE STYLE
公式アプリが出来ました

『髙橋フルーツランド』昭和 58 年創業の観光果樹園です。

果物を生産するだけではなく、「日々の暮らしの中に、くだものという習慣を」をコンセプトに「HATAKE STYLE」を県内に４店舗展開。
ひとりでも多くの人に美味しい果物を食べて頂けるように、年間を通してくだもののデザートを提供しています。
特製のフルーツパフェや新鮮なフルーツジュースが楽しめる他、地元の食材にこだわったランチなどもオススメです。

App Store からダウンロード
Google Play で手に入れよう

～日々の中にくだものを～
HATAKE STYLE

髙橋フルーツランド 本店
山形県上山市阿弥陀地字塩崎前 1368-3
☎ 023-673-4706

HATAKE STYLE 本店
山形県上山市阿弥陀地字塩崎前 1368-3
☎ 023-673-9633

HATAKE STYLE エスパル山形店
山形県山形市香澄町 1-1-1　エスパル山形 2F
☎ 023-628-1226

HATAKE STYLE トマト上山店
山形県上山市金瓶字山ノ上 39
☎ 090-7320-5684

髙橋フルーツランド 上山駅前店
HATAKE STYLE 上山駅前店
山形県上山市矢来 1-2-1（かみのやま温泉観光案内所内）
☎ 023-665-0690

HATAKE STYLE ぐっと山形店
山形県山形市表蔵王 68
☎ 023-688-1577

山形銀行 調査月報 2020年10月号 №592

発行日　2020年10月１日（毎月初日発行、１月は休刊）
発　行　やまぎん情報開発研究所（株式会社山形銀行 営業支援部）
〒990-8642 山形市七日町三丁目１番２号　TEL：023-623-1221
http://www.yamagatabank.co.jp

印　刷　株式会社大風印刷

この用紙は、適切に管理された森林資源を使用しています
VEGETABLE OIL INK